

令和5年度

政策提言書



長崎商工会議所青年部

「また来たくなる長崎

10年後、その先を見据えたまちづくり」

目次

/ はじめに

/ 令和5年度 政策提言3つの柱

/ ①交通インフラ整備

①-I 市営駐車場を活用したパークアンドライドのDX化
～IoTを活用した駐車場混雑状況の可視化～

①-II 「Zippar」の導入

/ ②ナイトタイムエコノミーの推進

②-I 「創造都市ネットワーク日本」への参加

②-II 実施組織について

②-III 「ナイトアート」(芸術祭)の開催

/ ③新規集客イベントの誘致

～将棋タイトル戦「竜王戦」の誘致～

/ おわりに

はじめに

都道府県魅力度ランキング 2023（ブランド総合研究所調べ）では第 10 位となっている長崎県。しかしながら、人口の転出超過も続いており人口減少にはまだまだ歯止めがかからず、長崎市の人口（住民基本台帳登録者数）は令和 5 年 3 月末に 40 万人を割り込み、少子高齢化の波も落ち着く様子はありません。経済においては、三菱重工業長崎造船所の事業縮小をもとに、今までの基幹産業であった造船業が衰退していく中、少しずつ観光客は増え続けており、ホテル業等はコロナ禍前に近い水準に戻りつつあると言われていますが、夜の飲食店等においては遠のいた客足は未だ完全には戻らず、今も苦境に立たされている店舗も少なくありません。しかし、これからの長崎の経済の起爆剤となるのは国内外の来訪客を含めた観光業であり、大事な柱になることは間違いありません。「令和 4 年度長崎市日本人観光客動向分析結果報告」を見ると、観光で訪れる人の長崎市内での訪問先は、「中華街」、「グラバー園（旧グラバー住宅）」、「稲佐山」、「出島」、「眼鏡橋」の順となっており、訪問の目的は「名所・旧跡の観光」、「地元の美味しいものを食べる」、「まちあるき・都市散策」となっています。この結果をみると、一般的な観光地としては妥当であると考えられますが、近年の趣向の多様性を踏まえると、既存の長崎の魅力に加え、今まで長崎に関心がなかった人たちへの新たなアプローチとして、新たに魅力・視点を付加していくことが必要と考えられます。以上のことより、今年度の政策提言は「また来たくなる長崎」としてテーマを設け、まずは長崎市を取り巻く社会基盤を改善し長崎市民にとって住みやすいまちづくりを行うと共に、来訪客に対してストレスのない来訪機会とすること。次に、以前からも取り上げられているナイトタイムエコノミーについてさらに踏み込み、またその実施組織に言及する。さらには、長崎に興味がないということで取りこぼしていた層に対し、今までになかった視点から掘り下げること、新たな来訪客層の獲得機会に繋げることを目指します。このことで、リピーターを増加させることはもちろん、長崎市民はもとより長崎を何度でも楽しめるまちにしていくことで、これからの長崎の発展の一翼を担い、持続可能なまち長崎として繁栄していくことができると確信しております。そのためにも、政策実現に向けて青年部はもとより、各企業や各団体との連携は必要不可欠であり、ひいては市民一人ひとりを巻き込んでいく必要もあります。だからこそ、我々長崎が一丸となってチームとなり、一人ひとりが当事者意識を持って引っ張っていくということが重要であると考えます。今回提案する 3 つの提言について、長崎市でも実際に取り組んでいることもあるかと思いますが、我々の提言が少しでも参考になれば幸いです。

最後に、この政策提言書の取りまとめにあたり、ご支援・協力を頂戴した全ての皆様に感謝し、厚く御礼申し上げます。

長崎商工会議所青年部

令和 5 年度 政策提言委員長 光富 英治

令和5年度 政策提言3つの柱



①交通インフラ整備

社会基盤を改善し、長崎市民にとって住みやすいまちづくりを行い、尚且つ来訪客の移動時のストレス軽減を図る



②ナイトタイムエコノミーの推進

官民一体となったナイトタイムエコノミー事業を提案し、またその実施組織や手法を構築する



③新たな集客イベントの誘致

長崎に興味がないということで取りこぼしていた層に対し、今までになかった視点から掘り下げること、新たな来訪客層の獲得機会に繋げる

①交通インフラ整備



(引用：NCC ニュース)

100年に一度の変革と言われている長崎市において、出島メッセ長崎の完成や西九州新幹線の開業、また新型コロナウイルスの影響縮小により、国内外からの多くの観光客が見込まれ、交流人口の増加が想定されている。また来年以降、スタジアムシティの完成によりスポーツツーリズムによる訪客数の大幅拡大が予想されている。

そのような中、特に長崎駅前やスタジアムシティ近辺の交通渋滞が容易に想定されるため、渋滞解消・緩和することが喫緊の課題となっている。

問題点 1：一部施設に交通量が集中することで渋滞が発生している

問題点 2：市内にある駐車場の空き状況が分からず、駐車場探しに時間を要するため交通量が増えている



(令和3年度全国道路・街路交通情勢調査)



(引用：2022年9月24日掲載の長崎新聞)

特に週末や大型連休などは駐車場が混雑

- ・地元市民にとって大きなストレス
- ・観光客にとってイメージダウン

①—I 市営駐車場を活用したパークアンドライドのDX化

～ IOTを活用した駐車場混雑状況の可視化～



駐車場検索アプリ PPPark



中心市街地駐車場検索サイト

とむ〜で.com

現在、駐車場検索アプリや長崎市の中心市街地駐車場に特化した空車状況サイトなどはあるが、駐車料金や場所の検索ができるがその空き状況までは確認できなかったり、空き状況は確認できるが一部分のエリアだけに限定されていたりと、一長一短となって十分な満足を得るものがない。やはり、買い物や観光で訪れた際に、できるだけストレスフリーで滞在時間を有効活用できるよう、より便利なツールの開発が必要である。そこで我々が目を付けたのが、(株) VACAN (バカン) が提供する、AIとIOTを活用し、様々な空き状況を配信するサービスである。このリアルタイムで混雑情報配信サービス VACAN (バカン)」を用いて、駐車場における混雑状況をリアルタイムに可視化し、発信することで目的の場所に最適な駐車場の空き状況を確認することができる。現在長崎市では VACAN Maps として、災害時に避難所の混雑状況をリアルタイムに配信するサービスとして導入している。従来は市のホームページで発信していたため、情報の取りまとめや更新に時間がかかっていたが、マップ状の画面でリアルタイム提供する世界を実現しており、手間も少なく、円滑な避難所運営を行うことができる。

【VACAN のソリューション】

混雑状況が手元で確認できることで「密を回避する」選択を促し、分散利用を実現する。



VACAN のイメージ



長崎市が導入している避難所の混雑状況がわかる「VACAN Maps」



(転載元：とさでん交通株式会社 HP)

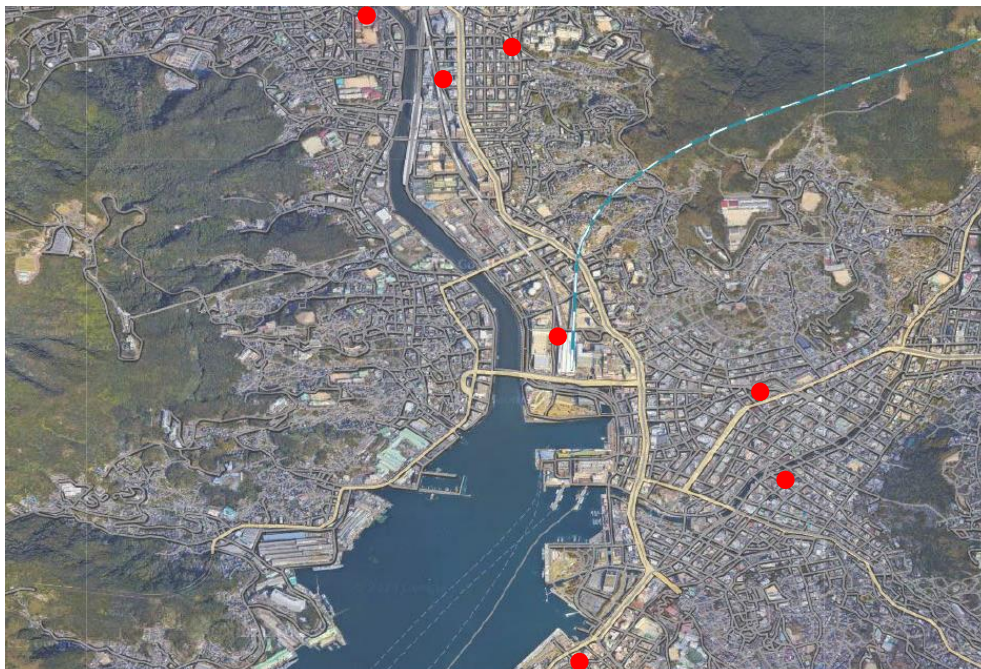
長崎市も推奨している「パーク&ライド」

都市周辺部に駐車し、そこから都市部まで電車やバスなどの公共交通機関を利用することで、目的地付近の交通混雑緩和を図るための駐車場（現在、平和公園駐車場、松山町駐車場、県営野球場駐車場）が指定されているが、指定されている駐車場の数も少なく、なかなか周知されていないのが現状である。

この「パーク&ライド」を長崎市民はもとより、観光客にも広く浸透させることができれば、交通量が一極集中せずに済み、快適な交通環境を生み出すことができるのではないかと考える。

現在の問題としては、長崎市営駐車場がどこにあるのかが全く認識されていないことである。この問題を解決するためには、全員に分かりやすく地図上に表示して可視化することである。長崎市がホームページ等で公表している市営駐車場は、全8か所（約1000台）である。

長崎市営駐車場（市内 8 か所）



	駐車場名	台数	営業時間	駐車料金
1	長崎市桜町駐車場	174 台	7:00～22:00	最初の 30 分 140 円 30 分毎 130 円
2	長崎市民会館地下駐車場	172 台	7:00～22:00	最初の 30 分 140 円 30 分毎 130 円
3	長崎市茂里町駐車場	139 台	0:00～24:00	最初の 30 分 130 円 30 分毎 120 円
4	長崎駅西口自動車整理場	17 台	0:00～24:00	最初の 30 分 200 円 30 分毎 200 円
5	長崎平和公園駐車場	89 台	地上部 0:00～24:00 地下部 7:00～20:00	最初の 1 時間 300 円 30 分毎 140 円
6	長崎市松山町駐車場	297 台	地上部 0:00～24:00 地下部 7:30～22:00	最初の 1 時間 260 円 30 分毎 140 円
7	長崎市松が枝駐車場	42 台	3/1～7/9、10/10～11/30 7:00～19:00 7/20～10/9 7:00～22:00 ※グラバー園の夜間休園 日は 7:00～19:00 12/1～2 月末 7:30～18:00	最初の 1 時間 300 円 30 分毎 120 円
8	長崎市松が枝第 2 駐車場	99 台	7:00～20:00	最初の 1 時間 300 円 30 分毎 120 円

（引用：長崎市役所 HP 市営駐車場料金一覧表 R4 年 7 月時点）

ただ、これだけでは渋滞の緩和に直接繋がるものではないと考えるが、駐車場を分散化して交通の流れを変えることができれば、交通渋滞の緩和に繋げることができる。今後の目標としては、

①インセンティブの発行

誰もが目的地の一番近い場所に駐車したい気持ち（ラクをしたい）である事には変わりはない。官民一体となって協力し、施設利用者に対してのインセンティブが必要と考える。例えば、

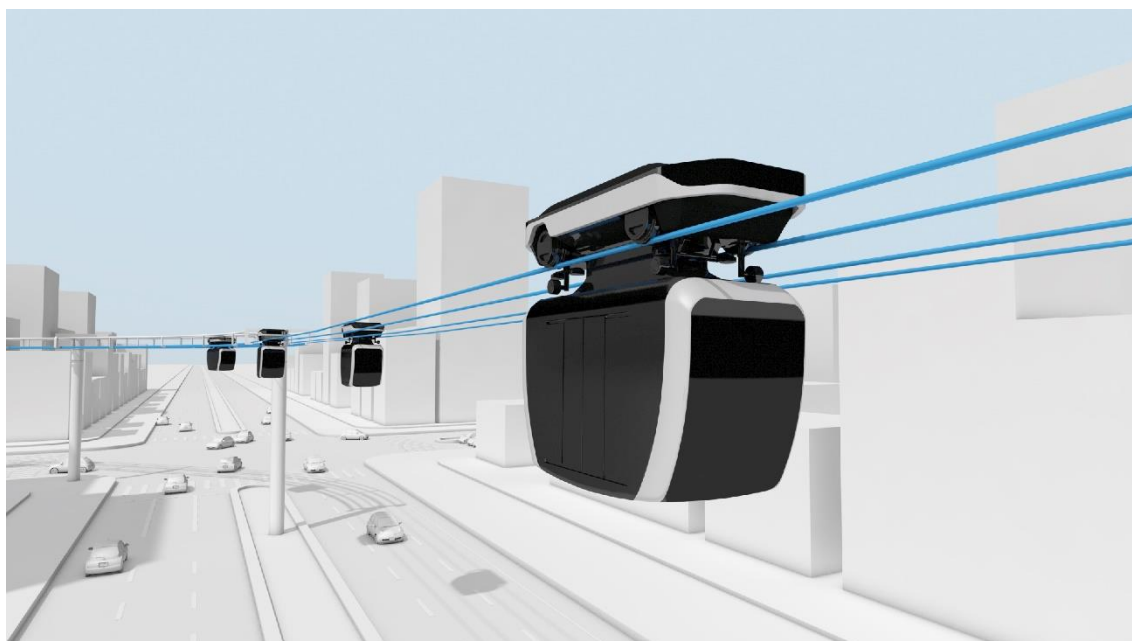
- ・エヌタスカードやマイナポイントなどのデジタルクーポンの発行
- ・公共交通機関利用の際の料金割引
- ・駐車場近辺の店舗で利用できるクーポンの発行
- ・公共交通の往復乗車券と駐車券のセット販売
- ・観光客向けにはお土産物などの進呈

などの優遇制度を設けることができれば、積極的な活用に繋げることができる。

②ツールとしての周知

良いサービスを提供できたとしたとしても、認知されなければ意味がない。その為に、認知度アップに向けた取り組みが必要である。現在の長崎市の広報媒体としてはSNSから紙媒体まで多岐にわたるが、今後それらを包括するようなアプリができ、それが普及した上でその中のコンテンツとして「駐車場検索」ができるような仕組みであれば、非常に有効である。

①ーII 「Zippar」の導入



「Zippar」のイメージ（引用元：Zippar Infrastructure 社資料）

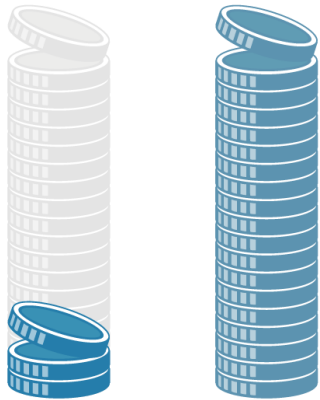
「自走式ロープウェイ Zippar で、都市の移動をもっとスムーズに」

Zippar は、街づくりに貢献する Zippar Infrastructure 社が開発している次世代交通システムである。今までデッドスペースとなっていた道路上の空間に価値を見出し、利便性、安全性、経済性に優れた Zippar で、「渋滞のない、どこでも駅徒歩5分圏内となる世界」を創りだすことを目的として開発された。

Zippar の社会実装に向けて、学識経験者・研究機関・国土交通省を構成員とする技術評価委員会による認証を獲得し、国内第一路線の運行を予定。日本・東南アジアの移動を支える交通基盤として、多くの地域に Zippar を導入し、よりスムーズな世界を実現することを目指している。駅から大学、ショッピングモール、住宅地や団地、湾岸エリア、大規模工場等のエリアなど様々な場所で運行することができ、1時間に600～3000人程度の輸送能力を持つ。なお2025年の大阪万博に出展予定となっている。

【Zippar の4つのメリット】

①低コスト

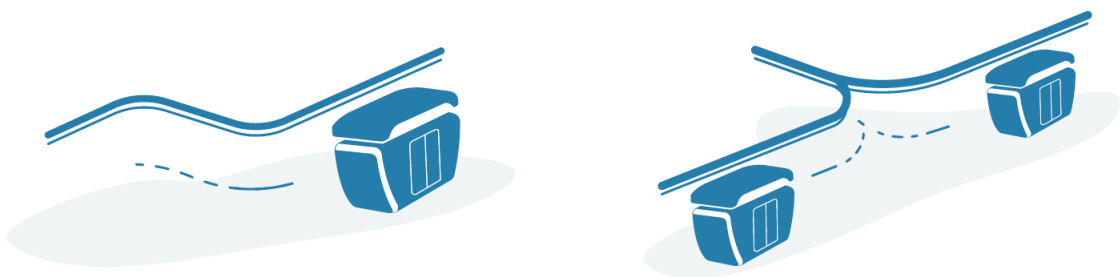


Zippar モノレール

軽量搬器と軽量支柱の組み合わせ

既存のモノレールに比べ、約 1/5 のコスト(15 億円/km) ・期間(1年)で建設可能
(参考：長崎稲佐山スロープカー 総工費 20 億 4,000 万円 (全長 500m))

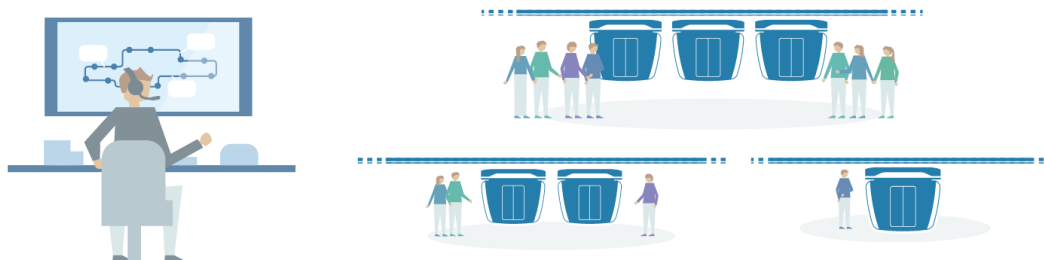
②自由設計



これまで難しかったカーブを可能

既存のロープウェイと異なり、「Zippar」はロープとゴンドラが独立しているため、カーブや分岐を自由自在に設けることができ、柔軟な路線設計ができる

③自動運転



高頻度な交通インフラを実現する技術

自動運転のため、運転士不足に悩まされることもなく、時間帯や路線など、旅客需要に応じて車両数を増減させることが可能

④快適・安心走行



2本のロープとレール上を滑らかに安心走行

2024年中には駆動部の安全性が認められる予定。また、ロープ2本タイプを採用していて、通常のロープウェイの1.5倍の風速(30m/s)まで運行可能。信号もなく、走行速度は平均30km/h

【導入のシミュレーション】



● : 市営駐車場

○ : Zipparの駅

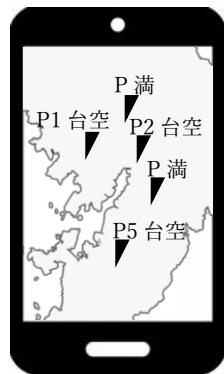
自由に経路を設計できるため、空中を有効に活用ができ、様々な地域を繋ぐことができる。松ヶ枝埠頭から松山陸上競技場、途中宝町付近で分岐し長崎漁港駐車場までの全長は約6km。また、無人運航が可能のため、今日の運転手不足問題を解決するとともに、夜間の運行も行うことで、他の公共交通機関のサポートとなる。このZipparが今後、既存の公共交通機関とともに新たな交通インフラとして市民の生活の足となることに加え、観光客にとっても新たな観光手段の一つとして活躍できると考える。さらには、このZipparを運行することの大きな役割としては、色んな場所を「繋げる」ということである。このマップに、前章で提案したパークアンドライド市営駐車場の場所を重ねると、図のようになる。つまりは、Zipparを活用することでパークアンドライドの推進にもつながり、交通量を分散させることでの交通渋滞の緩和に大きく寄与することができる。

【まとめ】

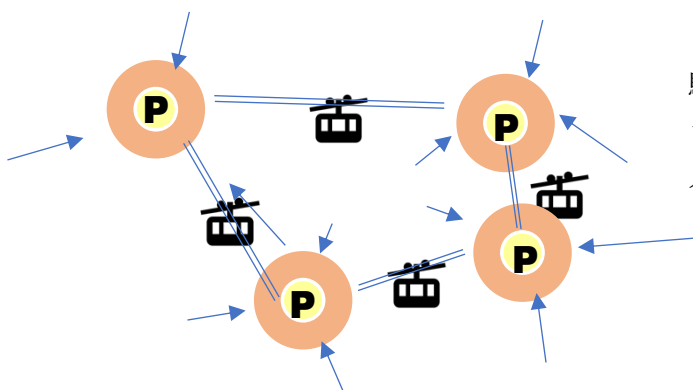
近年の課題でもあり、また今後想定されるであろう「交通渋滞問題」は長崎市にとって大きな社会課題である。人口減少で交通量が減少していくことも想定されるが、スタジアムシティの開業や観光業の活性化により発生する交通渋滞は大きな問題である。しかしながら、

- ①市営駐車場の DX 化で駐車場の空き状況が一目でわかり、交通量を分散
- ②Zippar で既存の公共交通機関をサポートするとともに、観光地や市営駐車場を繋ぐことでパークアンドライドの促進を図り、さらに交通量を分散

この2つの取組みにより交通渋滞緩和を図り、長崎市民にとって「住みやすいまち」となることはもちろん、観光客にとって「安心・快適なまち」となることで、長崎のイメージが今まで以上に良くなり、「また来たくなる長崎」を目指す。



駐車場の空き状況が分かる市営駐車場の DX 化



駐車場の分散利用を図り、
また各所を Zippar で繋ぎ
パークアンドライドを推進

②ナイトタイムエコノミーの推進

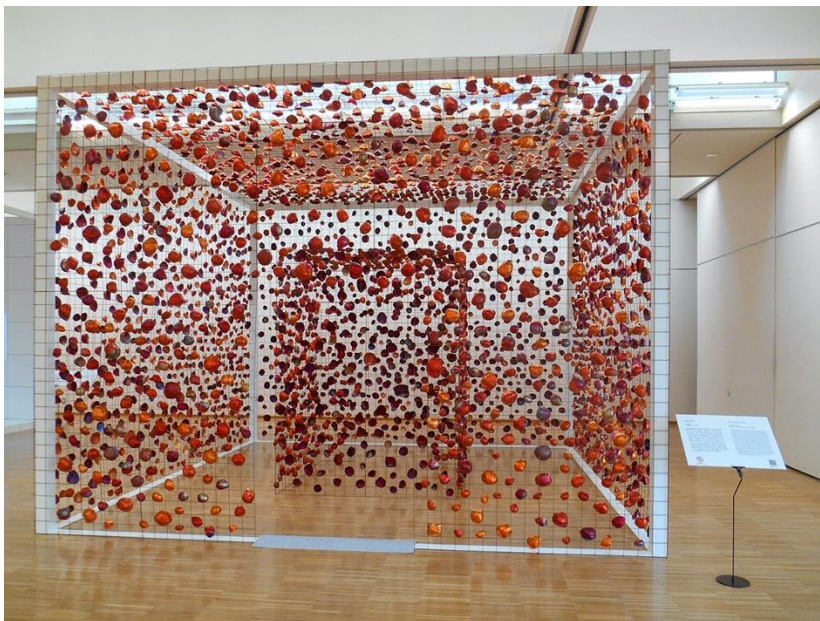


昨今、ナイトタイムエコノミーの推進が大きく取りざたされているが、その取り組みはまだまだ普及・浸透しておらず、開発の余地が大いにある。長崎市においても「長崎市ナイトタイムエコノミー推進事業費補助金」などを交付し推進しているが、ナイトタイムを今後より一層展開していくには、企業だけでなく行政も一体となって行っていく必要がある。今回、ナイトタイムエコノミーを推進すべく提言しようと考えているのは、「アート」による夜型観光の拡充である。長崎が歴史と文化を兼ね備えているまちだからこそ、「アート」を軸としたアカデミックなナイトタイムコンテンツを創出することが、今後の長崎のナイトタイムの過ごし方として最適であると考えられる。夜間を含めて文化の幅が広がれば、国内外の観光客の滞在時間も増えて消費拡大が実現し、もちろん夜間に営業する事業者にとっては、既存の資産を活用し、「夜間」という時間市場を開拓することができる。「アート」による夜型観光を拡充することで各種産業の活性化にも繋げることができ、またアートという静的行動の特性を生かし、その活動は比較的安全・安心に行うことができる。



(出展元：海外サイトより)

ビルバオ・グッゲンハイム美術館の建設による地域再生
(1997年 スペイン・ビルバオ 建築家：フランク・O・ゲーリー)



清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023

主催：県及び市

場所：岐阜県美術館

予算：20,000万円

来場者数：約5万人

※世界中より募集した近代芸術14作品を展示

今世界の一つの傾向として文化・芸術を通して地域再生を図ろうという動きがある。その中でも著名なのは1997年にスペインのビルバオに建設された「ビルバオ・グッゲンハイム美術館」である。1980年代より造船と鉄鋼業が衰退した一地方都市は、ビルバオ・グッゲンハイム美術館を中心とするアートによる大規模プロジェクトにより年間約400万人の観光客が訪れる都市として見事に再生を遂げた。開館から3年間で建設に要した費用約240億円を上回る経済効果を得たとされている。また国内を見ると、今年当委員会で訪れた岐阜県岐阜市の「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」は今回で3回目を迎え、本年4月22日～6月18日（57日間）の会期中、国内外より応募された現代アート14作品が展示され、約5万人が来場者した。このような事例は国内外でも多く見られ、各地域の特色を生かして開催されている。長崎において夜型観光「ナイトアート」を普及すべく、以下の3段階で考える。

- ① 「創造都市ネットワーク日本」への参加
- ② 実施組織について
- ③ 「ナイトアート（芸術祭）」の開催

【過去に補助金が採択された「長崎市ナイトタイムエコノミー推進事業」】

令和4年度3月採択

- 1.九州初！文化を伝えるナイトサップ
(株式会社デュアルキーシステム)
- 2.長崎港ヨットクルーズ&ディナー
(長崎サンセットマリーナ株式会社)
- 3.MaaS サービスを活用した次世代型ナイトライフプランパッケージ
(株式会社ゼンリン)

令和4年度8月採択

- 1.商館長の夜～出島で綴る音楽と演舞
(長崎バスホテルズ株式会社)
- 2.稲佐山ナイトフェスタ
(株式会社リージョナルクリエイション長崎)
- 3.交流人口拡大のための音楽と地元食材を中心としたバーラウンジの展開『ナガサキの夜はステキ』
(有)スリードラゴンズカンパニー)

令和5年度採択

- 1.ハイクラスナイトクルーズ・トリトン事業
(株式会社ユニバーサルワーカーズ)
- 2.日本有数の夕日と星空に会えるサンセットクルーズ&BBQ
(長崎サンセットマリーナ株式会社)
- 3.変更×変梅「文化的な夜遊び」
(株式会社 Clan)

①「創造都市ネットワーク日本」への参加



創造都市 (Creative City)

グローバル化と知識情報経済化が急速に進展した 21 世紀初頭にふさわしい都市のあり方の一つ。文化芸術と産業経済との創造性に富んだ都市。

世界的な動きとして…

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が、文化の多様性を保持するとともに、世界各地の文化産業が潜在的に有している可能性を都市間の戦略的連携により最大限に発揮させるための枠組みとして、2004年より「創造都市ネットワーク」事業を開始

日本国内では現在7つの分野で創造都市が認定



九州では大分県白杵市だけとなっている。

【創造都市ネットワーク日本】



CCNJ Creative City Network of Japan
創造都市ネットワーク日本

文化芸術と産業経済との
創造性に富んだ

創造都市

の普及推進活動を行なっています

Creative City Network of Japan

(転載元：創造都市ネットワーク日本)

日本国内としては、文化庁が文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む地方自治体を「文化芸術創造都市」と位置付け、文化庁長官表彰の文化芸術創造都市部門（2007年度～）、創造都市推進事業（2009年度～）、創造都市モデル事業（2010～2012年度）などによる創造都市への取組支援を行っているほか、文化芸術創造都市推進事業においては、創造都市ネットワーク日本（CCNJ）を通じた国内の文化芸術創造都市間のネットワーク強化をはじめ、政策研究や意見交換などの取組を支援している。



(転載元：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 HP)

創造都市ネットワーク日本（CCNJ）は、創造都市の取組を推進する（または推進しようとする）地方自治体等、多様な主体を支援するとともに、国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォームとして、わが国における創造都市の普及・発展を図ることを目的として、平成25年1月13日に設立。CCNJは、創造都市に関するあらゆる情報・知見・経験交流のハブ機能を担い、取組主体のサポート役に徹することを基本的な役割とし、わが国における創造都市の普及・発展を通じて日本社会の創造的な復興・再生に貢献するとともに、平和で共生的なアジア創造都市ネットワークを構築する礎となることを目指す。都市特性、人口規模、地域課題等により、地方公共団体が取り組む文化芸術政策は多様である中、CCNJは2030年までに、そうした多様な政策事例の研究や共有、地域の連携・協働を推進するプラットフォームとして、文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に活用し、地域課題の解決に取り組む活動を推進することにより、SDGsの達成に貢献していくため、「多様な文化芸術創造都市への取り組みを通じて、SDGsの達成にも貢献できるプラットフォームとしての発展」をビジョンに掲げ、事業を推進している。

（主な事業内容）

国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォームとして、わが国における創造都市の普及・発展を図るため、様々な事業を実施。

・創造都市ネットワーク会議

創造都市の取組を推進する（または推進しようとする）地方自治体等多様な主体を支援し、ネットワークの構築、情報交流を促進するため、ネットワーク会議を開催

・創造都市政策セミナー

創造都市の普及啓発や創造都市を担う人材を育成するため、「創造都市政策セミナー」等のセミナー・研修を開催し、講師の紹介や斡旋等

②実施組織について



(転載元：長崎市役所 HP)

平成25年10月5日、世界夜景サミットにおいて長崎市の夜景が世界新三大夜景に認定された。長崎夜景の認知度・関心度は以前と比べ着実に向上し、夜景鑑賞を目的とした観光客は増加傾向にあり、夜景観光による経済波及効果に大きな期待が寄せられていた。

これを機に長崎夜景の更なる認知度・関心度の向上を図り、観光客誘致による交流人口を増大させるため「長崎夜景の楽曲制作」を行い、夜景観光の起爆剤として、長崎夜景のPRを全国へ、そして世界へ発信していくべく、長崎夜景の楽曲に関する様々な取り組みの積極的な展開を図るための組織として「長崎夜景プロモーション実行委員会」が設立された。

【長崎夜景プロモーション実行委員会組織図】

氏名	所属	役職	
委員長	山口 雅二	長崎商工会議所	副会頭
副委員長	牧島 昌博	長崎市文化観光部	部長
副委員長	篠崎 良介	長崎商工会議所青年部	会長
委員	岸本 悟	九州旅客鉄道(株)長崎支社	執行役員長崎支社長
委員	友池 昌寛	(株)九電工長崎支店	執行役員長崎支店長
委員	藤本 陽一郎	(株)トーワ	代表取締役
委員	股張 一男	(一社)長崎国際観光コンベンション協会	常務理事
委員	田川 伸一	長崎都市経営戦略推進会議	事務局長
委員	田中 洋一	(一財)長崎ロープウェイ・水族館	理事長
委員	松藤 章喜	長崎商工会議所観光部会	部会長
委員	糸屋 悦子	長崎商工会議所女性会	会長
委員	井手 一	崎商工会議所青年部	直前会長
委員	高橋 佳子	長崎商工会議所青年部	政策提言担当副会長
委員	山口 恭兵	長崎商工会議所青年部	専務理事
委員	光富 英治	長崎商工会議所青年部	政策提言委員長
委員 (会計監事)	中村 洋介	(株)十八親和銀行 地域振興部	主任調査役
委員 (会計監事)	高嶋 進	長崎商工会議所 中小企業振興部	部長
事務局	濱崎 亮	長崎商工会議所	経営支援課長
事務局	高見 智也	長崎商工会議所	経営支援課
事務局	田浦 彬瑛	長崎商工会議所	経営支援課



(転載元：長崎商工会議所 HP)

平成 25 年

「長崎夜曲」 楽曲制作



(転載元：市役所 HP)

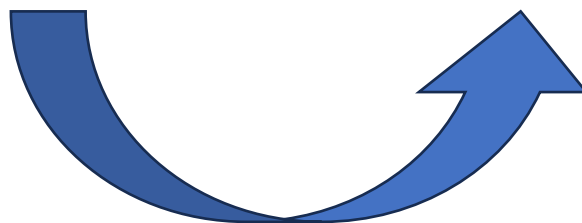
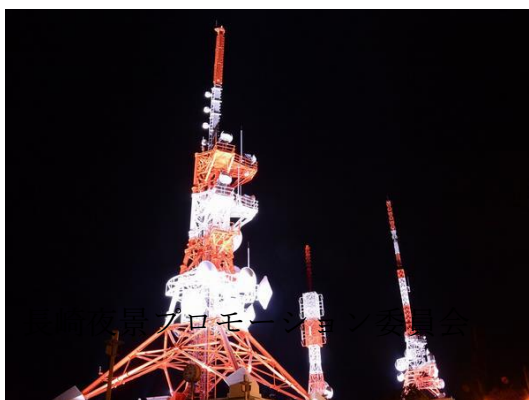
平成 27 年

稲佐山電波塔ライトアップ

【長崎夜景プロモーション実行委員会 実績事業】

- 平成 25 年度 世界新三大夜景 長崎夜景の楽曲制作
世界新三大夜景テーマ曲 完成セレモニー
- 平成 26 年度 「長崎夜曲」 中高生リレー演奏ムービー制作・発表
- 平成 26 年度 「2014 光のおもてなし」 稲佐山電波塔ライトアップ
「年賀状で長崎夜景をアピールすうで」 キャンペーン
- 平成 27 年度 被爆 70 周年「ひかりと祈り」 発信事業
～クスノキリレーソングプロジェクト～
稲佐山電波塔ライトアップ
- 平成 28 年度 稲佐山電波塔イルミネーションショーの常設化
ねんりんピックを光でおもてなし
- 平成 29 年度 長崎くんちを光でおもてなし「2017 光のおもてなし」の実施
世界新三大夜景認定 5 周年記念レセプションの開催
- 平成 30 年度 「長崎夜曲」の契約締結・「長崎夜曲」5 周年感謝状贈呈式の実施
「2018 光のおもてなし」の実施
- 令和元年度 「祈りの光」点灯事業 ～平和公園から上る光の柱実施
- 令和 2 年度 「長崎夜曲」「長崎夜景動画」の活用・普及推進
JR 長崎新駅舎スピーカー撤去・移設
- 令和 3 年度 「長崎夜曲」 中高生リレー演奏ムービー制作・発表
- 令和 4 年度 ナガサキ・シン夜景マップの作成

【ナイトタイムエコノミーを今まで以上に推進するために】



再編

【ナイトタイム委員会へ移行・再編するメリット】

- ・より多くのステークホルダーで組織することにより、地域に根差した効果的な取り組みが可能となる。
- ・現在、夜景プロモーションに特化した事業の運営となっているが、夜景だけでなく夜の観光の包括的・総合的なプロモーションを行うことができる。
- ・これまで夜景プロモーション実行委員会が取り組んできた実績を背景に、円滑かつ現実的な事業展開が可能となる。

【官民一体となった事業の構築】



これまでの政策提言でも、夜景プロモーション事業や華町再生事業などナイトタイムエコノミーの推進に関する提言を行ってきたが、実現を目指すに当たっては、交通インフラ整備や雇用の問題など派生する課題は多岐に渡る。

つまり、夜景に関する事業だけでなく、夜景+安心・安全な環境づくり、夜景+雇用問題、夜景+交通インフラ整備、などの派生する問題を含め、より様々な立場の視点で議論していく必要がある。

③ 「ナイトアート」(芸術祭)開催

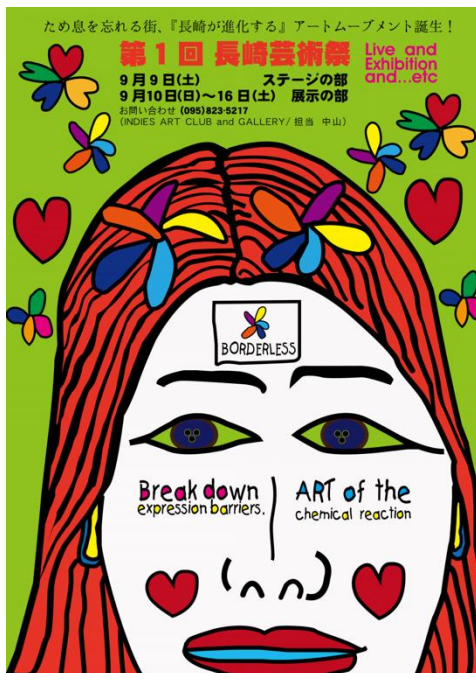


(転載元：長崎県美術館 HP)

「ナイトアート」では、光をテーマにした芸術祭を開催し、長崎を今まで以上に「光」の都市として確立することで、昼と夜の二面性を持つ印象づけを行う。さらには、長崎市民だけでなく来訪客にもアートに造詣の深い都市として発信する機会とする。



NAGASAKI アートミュージケーション 23
(主催：満月 BAR 実行委員会、長崎県)



長崎芸術祭
(主催：長崎芸術祭実行委員会)



第40回国民文化祭

「ながさきピース文化祭2025」

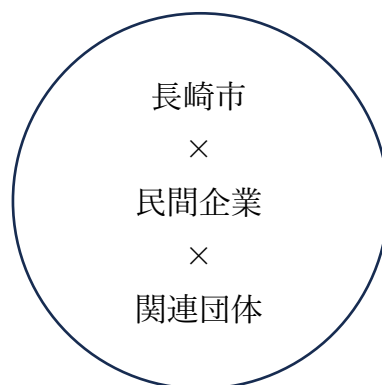
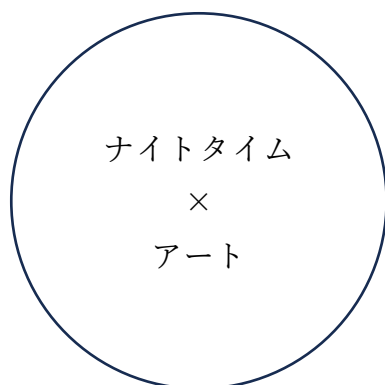
ダンスや演劇、絵画、写真、映画等、多岐に渡る題材を取り扱ったアートイベントはこれまで開催されているが、新型コロナウイルスの影響により中断を余儀なくされている。

【「光」をテーマとした現代アート作品展の開催】



(転載元：team lab HP 徳島ライトシティアートナイト - チームラボ 光る川と光る森)

「ナイトアート」としては、「光」をテーマとした現代アートの作品展の開催を考える。「光」をテーマにした作品を国内外の個人・団体から広く応募し選考する。最終審査に残った作品は屋内・屋外への展示を行い夜景の一部として観光資源になればと考える。また、一過性のイベントではなく通年展示などのアイデアも考えられる。



ナイトタイム委員会を実際に運営していくには、ナイトタイムとアートの組合せで昼と夜の二面性をもたせ訪問客の滞在時間の増加、消費拡大を実現。そのためにも今まで以上に長崎市、民間企業、関連団体の官民が連携して取り組むことが必要不可欠であり、ナイトタイムエコノミー事業で派生する諸問題への解決を目指し、「また来たくなる長崎」を目指す。

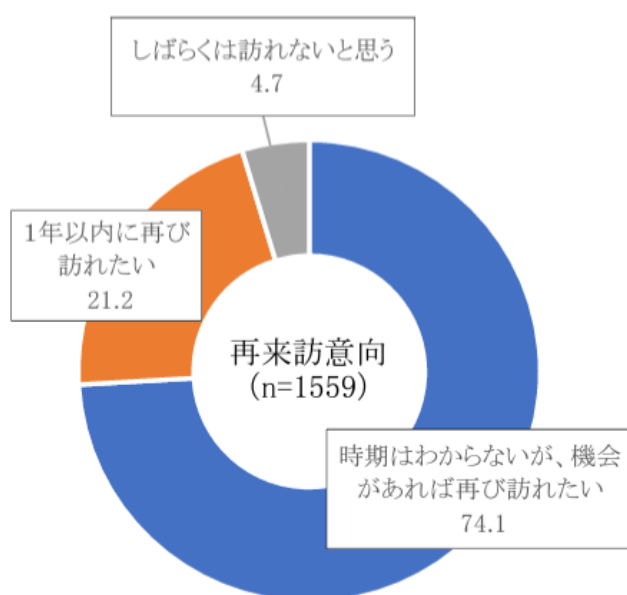
③新規集客イベントの誘致

～将棋タイトル戦「竜王戦」の誘致～

【「また来たくなる長崎」を作り出すためには？】

再来意欲調査

長崎市への再来訪については、「時期はわからないが、機会があれば再び訪れたい」が74.1%、「1年以内に再び訪れたい」が21.2%となっており、合計95.3%に再来訪意欲があった。なお、前年度調査（令和3年）では94.9%であり、ほぼ変化はない。



令和4年長崎市日本人観光客動向調査報告書

「また来たくなる長崎」をテーマに掲げたように、長崎市をはじめどこの地方都市にも同じことが言える。リピーターをいかに増やせるか、「時期はわからないが、機会があれば再び訪れたい」方々にとっての「機会」をどのように生み出していけるか？いかにしてリピーターを増やすか？

それは、

→「交流人口のすそ野を広げること」である。

リピーターが見込める滞在型の新たなイベントを開催し、滞在してこそわかる長崎の食、観光資源をアピールし、今まで長崎に興味がなかった人たちにも長崎の魅力に気づいてもらうことが重要。

【1年間の経済効果 35億円の21歳】



昨年10月に将棋のタイトル8つすべてを制覇した藤井聡太8冠

昨年10月に王座戦5番勝負の大熱戦を制し永瀬王座からタイトルを奪取して、8冠達成したニュースは皆様もご存知の通り。8冠はまさに前人未踏の偉業と言え、その活躍への注目度はいまや将棋ファンだけにはとどまらない。

将棋界の盛り上がりを長崎に！

将棋のタイトル戦誘致 → 交流人口のすそ野拡大

新たな交流人口の創出のためには、今の将棋界の盛り上がりを長崎に呼び込まない手はない。将棋タイトル戦を長崎で開催し、多くの将棋ファンを長崎に呼び込み、地域の魅力を広く知ってもらうことで交流人口のすそ野の拡大を図る。過去には将棋のタイトル戦は長崎市内でも開催されたことがあるが、まだ藤井8冠がタイトル戦に挑戦する以前の2019年、史跡料亭花月で行われた叡王戦が最後となっている。

【経済効果～「観る将」の増加～】

①流行語大賞 TOP10 入り：「観る将」

「観る将」とは将棋を指さずに「観る」専門の将棋ファンのことを指すが、今の将棋人気を支えているのは、「観る将」と言っても過言ではない。

②藤井聡太 8 冠の活躍により、将棋人口増加：観る将含め 1,000 万人

「レジャー白書 2023」によると、去年の指す将棋人口は 460 万人いるが、藤井聡太 八冠誕生の過程で「観る将」と呼ばれる新たなファン層が増加し、観る将を含めると将棋人口は 1,000 万人と日本将棋連盟が算出

③視聴数急増：ABEMA TV 将棋チャンネル視聴数 3 倍超

竜王戦・8 冠誕生の対局視聴数 760 万

【経済効果～将棋ファンの行動～】



竜王戦第 1 局会場前の撮影ポイント（セルリアンタワー）



(引用元：じゃらん net HP)

第 30 期竜王戦第 5 局会場の指宿の旅館・白水館

藤井 8 冠がもたらす経済効果 35 億円の中で将棋ファンの行動がもたらすものは、約 7 億 3 千万円となっている。これは主に、全国に 4 か所ある将棋会館への訪問や、対局やイベントで藤井八冠が訪れた場所や泊まったホテル、藤井八冠が食べた食事などを求めて消費する交通費や宿泊費、飲食費などの消費額となっている。



(転載元：CityLife News HP)

「はにたん最中」(1 個 280 円)
高槻で対局時に注文したおやつ



(転載元：ぴよりん公式 HP
ジェイアール東海フードサービス株式会社)

「ぴよりん」(1 個 420 円)
名古屋生まれのひよこ型スイーツ



10 月開催 竜王戦第 1 局
会場にて提供された食事とおやつ

将棋のタイトル戦は、全国各地を巡りながら 5 番勝負、7 番勝負を繰り返されて
おり、この際に各開催地の景勝地や名産品・スイーツなどが注目されている。

【誘致計画】

具体的に、どのタイトル戦をどのように誘致・開催するかというと、8大タイトル戦の名人戦とともにタイトル戦の中でも最も格の高い竜王戦を誘致する。将棋のタイトル戦は、2日制だと7番勝負で4戦先取、1日制だと5番勝負で3戦先取でタイトルホルダーとなる。竜王戦は格が高く、2日制であることから宿泊や食事、移動に伴う経済効果が期待できる。(参考資料参照)

LIVE

第36期
竜王戦 七番勝負
主催・読売新聞社 日本将棋連盟 特別協賛・野村ホールディングス

第1局	10月6・7日(金・土) セルリアンタワー能楽堂(東京都渋谷区)
第2局	10月17・18日(火・水) 仁和寺(京都市)
第3局	10月25・26日(水・木) 旧安川邸(福岡県北九州市)
第4局	11月10・11日(金・土) 銀鱗荘(北海道小樽市)
第5局	11月27・28日(月・火) ことひら温泉 琴参閣(香川県琴平町)
第6局	12月6・7日(水・木) 旧本郷家住宅(秋田県大仙市)
第7局	12月13・14日(水・木) 常磐ホテル(山梨県甲府市)

タイトルホルダー
藤井聡太
竜王

挑戦者
伊藤匠
六段

ABEMA

(転載元：ABEMA TV 将棋チャンネル)

毎年1月までに開催地に応募 ※応募は随時受付。締切は当該開催年の1月
同年4月 開催地発表
同年10～12月 開催

開催地は公募されており、1月までに応募するとその年の選考対象となる。参考資料に、昨年の竜王戦の開催地と昼食を記載しているが、7番勝負であったとしても、4戦先勝してしまうとその後の開催の必要なくなるため、少なくとも4戦目までの開催地に選ばれることを目指す。

【対局会場の選定】

ホテルや旅館での開催も可能だが、国指定史跡出島和蘭商館跡や史跡料亭花月など歴史ある建造物で行うことによって、歴史ある長崎の文化のアピールに繋がる。



国指定史跡出島和蘭商館跡



史跡料亭 花月



料亭 一力

【関連イベントの開催】



(引用元：深浦九段のX)

深浦康市九段（佐世保出身）（左）と佐々木大地七段（対馬出身）（右）

また、対局以外に様々な関連イベントの開催が可能である。例えば、前夜祭、大盤解説会、帯同してきた棋士によるトークイベント、こども向けやアマチュア棋士向けの指導対局など。長崎出身の有名棋士に、強豪棋士である深浦9段、今年王位戦と棋聖戦というタイトル戦を藤井8冠と戦った若手有望棋士の佐々木大地7段がおり、このお二人のトークイベントや指導対局が叶えば、長崎の将棋ファンの盛り上がりも大いに期待される。

【対局中、棋士に提供する昼食・ご当地スイーツで長崎の食をPR】

特に対局中のおやつが注目されることから、提供するおやつのコンテストなどのイベントも可能であり、長崎の食のアピールも強化できる。

【その他の取り組み】



(引用元：ながさーち)



(引用元：スポニチ)

藤井8冠は、「乗り鉄」であり各地を訪問した際鉄道に乗ることを楽しみにしているため、長崎の路面電車などを再アピールする格好のタイミングでもある。実際に藤井8冠に路面電車に乗ってもらい、鉄道好きな藤井8冠にちなんで将棋のラッピング電車を走らせたりすることができれば、将棋ファンのみならず鉄道ファンにもアピールができる。このように、将棋のタイトル戦誘致は、その人気を背景にした様々なビジネスチャンスが広がっている。

【地方の取り組みと経済効果】

掛川市の取り組み

- ・タイトル戦誘致のモデルケース
- ・費用を掛川市・島田掛川信用金庫・商工会議所で分担
- ・14年間にわたり王将戦第1局の開催地になっている



御城印



掛川城二の丸茶室



大盤解説会

(引用元：静岡建設業協会広報 HP わが街ウォッチング)

掛川市はここ14年にわたり、王将戦第1局の舞台となっており、掛川城二の丸茶室で開催されている。この掛川市は、タイトル戦誘致のモデルケースのような都市で、費用を掛川市、島田掛川信用金庫と地元の商工会議所で分担して、誘致をしている。また、掛川市長を会長とし、地元経済団体や観光協会、日本将棋連盟掛川支部などが参加した「実行委員会」が盛り上げに一役を買っている。掛川市長は、「その経済効果はかなりある」と述べており、今後も継続開催に意欲的である。今年の大盤解説会場への参加は、昨年より3倍以上の申し込みがあり、定員80人の会場に、昨年は2日間で約1,000人だった応募が、今年は約4,000人。急遽サテライト会場を増設している。

【地域活性化×交流人口拡大】

→「また来たくなる長崎」

今年から将棋連盟会長となった羽生善治9段は、「将棋を通して地域活性化を図りたい」ということで、まさに将棋タイトル戦の誘致は将棋界の盛り上がりを活かし、地域活性化や経済効果の拡大に繋げることができる。伝統と格式がありながら、AIを用いて研究・アピールしていく新しさも兼ね備えた将棋という文化の誘致は、新しい風を長崎に吹き込み、何度も訪れたくなるような地域へと変えるきっかけとなる。

おわりに

まずは、今年度の政策提言の場を整えて下さった長崎市長はじめ長崎市の皆さま、政策提言書の作成にあたり多くのご支援、ご協力をいただいた皆さま、そして、本書を手にして下さっている皆さまに心より感謝申し上げます。

長崎商工会議所青年部では、平成24年より長崎市に対し政策提言を行っております。いただいている貴重な機会に感謝し、毎年取り組んでいる大切な事業です。

提言した中には具現化に至ったもの、ひとつのアイデアとして活かされたもの、提言で終わったままのもの等様々であり、回数を重ねていくことによる難しさも感じつつの今年度のスタートでした。

長崎市は、今まさに100年に一度の変革期を迎えています。長崎駅周辺再整備事業、長崎スタジアムシティプロジェクトが進み、昨年5月のG7長崎保健大臣会合をはじめとする大規模な会合や学会、イベント誘致の成功等、次代への基盤づくりが着々と進められています。

その一方、人口減少や少子高齢化、雇用の問題、斜面地の住環境整備等、抱える課題も多く、将来展望としては明るいことばかりではないという側面もあります。

そのような中、我々はこれまでの提言を踏まえ、長崎市の強みを活かすと共に課題解決にも繋げていくにはどのような提言をしたら良いかを考え、今年度は「また来たくなる長崎 10年後、その先を見据えたまちづくり」をテーマに3つの提言をいたしました。

調査、研究にあたり改めて故郷長崎に深く向き合い、これまでのまちづくりに関わって来られた方の想いや熱量を感じる機会にも恵まれ、青年経済人としてこの事業に取り組むことの意義を実感しております。

開港以来450年余り、様々な国の歴史、伝統、文化が行き交い融合し、後に原爆の被災を受けながらも復興を遂げた長崎市。この度の政策提言が、住む人にとっても訪れる人にとっても持続可能なまちとしてありつづける為の一助となれば幸いです。

長崎商工会議所青年部

令和5年度 政策提言担当副会長 高橋 佳子

(参考資料) 【開催費用】

・1,500万円と推定(開催地の負担能力に合わせて協議、分担可能)

対局開催にかかる経費(モデルケース)

項目	摘要	概算金額	備考
関係者交通費	東京⇄開催地の標準的旅費×22人～25人	開催地による	棋士6人はグリーン車
関係者宿泊費	宿泊費×3泊(2食)×想定宿舍の宿泊単価		対局者は上位クラスの部屋
関係者食事費	【対局前日】夕食(前夜祭がある場合は別計上。ただし対局者他6人程度の別食が必要) 【対局初日】朝食・昼食(5食程度追加)・夕食 【対局2日目】朝食・昼食(同上)・夕食 【対局者用】茶菓2×2日、昼食2×2日 【本部控室】湯茶接遇		
前夜祭経費	会場費・料飲費・司会料・花束記念品費・その他要員費など		
大盤解説明会経費	会場費・棋士招聘費用・音響費・備品使用料・商品費・その他要員費など		
イベント経費	会場費・棋士招聘費用・市内移動費・音響費・備品使用料・昼食代・商品サイン会用品費・広報料など		将棋教室、指導対局、講演会など
広報費・印刷費	ポスター・チラシ等印刷費・広報費など		
管理手数料	調査経費、実施運営に関わる経費など		

(参考資料) 年間タイトル戦スケジュール

開催時期	タイトル戦	勝負数	主催者	特別協賛
4-6月	名人戦	七番勝負	毎日新聞社、朝日新聞社、 日本将棋連盟	大和証券グループ
4-6月	叡王戦	五番勝負	不二家、日本将棋連盟	
6-7月	棋聖戦	五番勝負	産業経済新聞社及び日本将棋連盟	ヒューリック
7-9月	王位戦	七番勝負	北海道新聞社、中日新聞社、神戸新聞社、徳島新聞社、西日本新聞社、 日本将棋連盟	伊藤園
9-10月	王座戦	五番勝負	日本経済新聞社及び日本将棋連盟	
10-12月	竜王戦	七番勝負	読売新聞社、日本将棋連盟	
1-3月	王将戦	七番勝負	スポーツニッポン新聞社、毎日新聞社、日本将棋連盟	総合警備保障
2-3月	棋王戦	五番勝負	共同通信社、日本将棋連盟	コナミグループ

(参考資料) 2023年のタイトル戦開催地

王座戦 (永瀬拓矢王座 vs 藤井聡太竜王・名人)

	日程	開催地	結果
第1局	8月31日	元湯・陣屋 (神奈川県秦野市)	○永瀬王座 (後手)
第2局	9月12日	ホテルオークラ神戸 (兵庫県神戸市)	○藤井竜王・名人 (後手)
第3局	9月27日	名古屋マリオットアソシアホテル (愛知県名古屋市)	○藤井竜王・名人 (先手)
第4局	10月11日	ウェスティン都ホテル京都 (京都府京都市)	○藤井竜王・名人 (後手)

王位戦 (藤井聡太王位 vs 佐々木大地七段)

	日程	開催地	結果
第1局	7月7-8日	豊田市能楽堂 (愛知県豊田市)	○藤井王位 (先手)
第2局	7月13-14日	中の坊瑞苑 (兵庫県神戸市)	○藤井王位 (後手)
第3局	7月25-26日	料亭湯宿 銀鱗荘 (北海道小樽市)	○藤井王位 (先手)
第4局	8月15-16日	和多屋別荘 (佐賀県嬉野市)	○佐々木大七段 (先手)
第5局	8月22-23日	渭水苑 (徳島県徳島市)	○藤井王位 (先手)

(参考資料) 2023年のタイトル戦開催地

棋聖戦 (藤井聡太棋聖 vs 佐々木大地七段)

	日程	開催地	結果
第1局	6月5日	ダナン三日月 (ベトナム)	○藤井棋聖 (先手)
第2局	6月23日	ホテルニューアワジ (兵庫県洲本市)	○佐々木七段 (先手)
第3局	7月3日	沼津御用邸東附属邸第1学問所 (静岡県沼津市)	○藤井棋聖 (先手)
第4局	7月18日	高志の宿 高島屋 (新潟県新潟市)	○藤井棋聖 (後手)

名人戦 (渡辺明名人 vs 藤井聡太竜王)

	日程	開催地	結果
第1局	4月5-6日	ホテル椿山荘 (東京都文京区)	○藤井竜王 (後手)
第2局	4月27-28日	浮月楼 (静岡県静岡市)	○藤井竜王 (先手)
第3局	5月13-14日	高槻城公園芸術文化劇場 (大阪府高槻市)	○渡辺名人 (先手)
第4局	5月21-22日	麻生大浦荘 (福岡県飯塚市)	○藤井竜王 (先手)
第5局	5月31-6月1日	緑霞山宿 藤井荘 (長野県高山村)	○藤井竜王 (後手)

(参考資料) 2023 年竜王戦の昼食

	開催地	昼食
第1局	セルリアンタワー能楽堂 (東京都渋谷区)	1日目 藤井竜王 ほうれん草のタイ風グリーンカレー 伊藤7段 牛香味焼井 2日目 藤井竜王 海の幸入りあんかけ焼きそば 伊藤7段 海の幸入りあんかけ焼きそば
第2局	仁和寺 (京都市)	1日目 藤井竜王 紅葉御膳 伊藤7段 菊花御膳 2日目 藤井竜王 湯葉うどん 伊藤7段 湯葉うどん
第3局	旧安川邸 (福岡県北九州市)	1日目 藤井竜王 北の海鮮バターライスっちゃ 伊藤7段 海老香る関門地ダコの冷製にゅうめん 2日目 藤井竜王 肉ごぼ天うどん、味巻きずし、ジャン ポいなり、かしわおにぎり 伊藤7段 天然鰻 (うなぎ) の鰻重
第4局	銀鱗荘 (北海道小樽市)	11/10開催

令和5年度 長崎商工会議所青年部

会 長 篠崎 良介

政策提言委員会

副 会 長	高橋 佳子
委 員 長	光富 英治
副委員長	末永 敬一朗
副委員長	古田 大樹
委 員	鮎川 泰輔
委 員	泉田 潤一郎
委 員	江添 純二
委 員	河原 歩
委 員	工藤 良太
委 員	児島 正吾
委 員	長野 力
委 員	中村 禎二
委 員	信龍 努
委 員	乗松 亮平
委 員	東村 亮
委 員	日高 圭太
委 員	福島 可菜実
委 員	福田 光司
委 員	藤澤 翔
委 員	村上 暁子
委 員	山下 泰人